

誰もが働きやすい、職場にしていくために

平成28年4月に施行された「女性活躍推進法」により、事業所では採用・職域・制度での環境整備が進められています。今回パレットは、男女共に個々の能力を十分に発揮できるように「ポジティブ・アクション」に取り組む事業所の「今」取材しました。



ティーライフ株式会社 男女共同参画社会づくり宣言事業所

事業内容:健康茶、健康食品等の通信販売 従業員数 133名 (うち女性89名)

子育てサポート
企業として
「くるみん」認定



◆働きやすい職場にするための制度や取組

- ・仕事と家庭の両立支援 (産休、育児・介護休暇、短時間勤務)
- ・毎週水曜日はノー残業デー
- ・社員が仕事に対する意見・要望を伝えるための自己申告制度等

◆取組による効果

- ・男性育児休業取得率25%
- ・残業は月平均6時間
- ・女性管理職の割合 28%

鈴木さんの場合



管理部経理担当課長
すずき ひさえ
鈴木 久衣 さん
入社16年目

✿中途採用→→正社員→→管理職に(その間、出産3回)

鈴木さんご自身3回のお産と共に、職場の体制が徐々にかわっていった体験をしています。課長職になってからも、育児休暇や短時間勤務の制度を利用しながら働いています。

✿仕事と家庭の両立

育児に追われ、仕事の責任も考え、一時は課長職をはなれたこともありましたが、日頃からの上司や課員とのコミュニケーションによって、急な休みにも困らないように、仕事の見える化、マニュアル化を進めてきました。

✿限られた時間で最大のパフォーマンスを

短時間勤務として、限られた時間の中で成果を出せるよう、効率化できるところを工夫し、仕事と家庭のバランスをとりながら働いていきたいと思っています。

鳥居さんの場合

✿課長職への意識

年4回の個人面談のとき、管理職としてやる気があるか聞かれました。そのとき初めて、自分の今後の働き方や人生設計について意識するようになりました。

✿とにかくすべてから学んでいる

自分が以前担当していたこと以外も知っておかなければならないので、視野は広がり、学ぶこともとても多くあります。既婚ですがまだ子どもはなく、仕事と家庭の両立は夫婦で理解し、支えあっています。今後出産することがあっても、鈴木さんのような先輩もいるので、安心して仕事を続けられると思っています。

✿課員の人生設計にも配慮し・・・

以前は自分の充実を考えていましたが、新規顧客開拓が課の目標なので、課員の能力を引き出し、課長としての立ち場で会社に貢献していけたらと思っています。



顧客開拓部顧客開拓課長
とりい まり
鳥居 麻理 さん
入社8年目

取材を終えて・・・

社内受付ロビーには、顧客から寄せられたお便りが壁一面に掲載されていた。顧客の声を大切に、次の商品に反映させる社の体制、自社製品への愛着と限らない向上心、そのために男女関係なく働きやすい職場にしていこうとする、会社全体の根本の理念。創業以来ぶれていない「社長の意気込み」が伝わってくる。それが、販売推進、業績アップへ繋がると思信した一日だった。

ポジティブ・アクション

様々な分野において、活動に参画する機会
の男女間の格差を改善するため、必要な範囲
内において、男女のいずれか一方に対し、活
動に参画する機会を積極的に提供するもので
あり、個々の状況に応じて実施していくもの。

例えば、「管理職は男性が半数を占めて
いる」など、男女社員の間で生じている差
を解消しようと個々の企業が行う自主的か
つ積極的な取組みのことです。



男性が多い職場でチャレンジ!

男女共同参画社会づくり宣言事業所

大井川鐵道株式会社

井川線 車掌
うえむら し え
上村 詩恵 さん 入社2年目



✿入社したきっかけ

職員募集の案内を見て応募しました。もともと鉄道も観光旅行も好き。大井川鐵道を利用した時、職員の皆さんの対応がとても素晴らしかったので、ここで働いてみたいと思いました。

✿仕事内容

列車運行上の安全管理全般が最優先の仕事。お客さんの乗降時の安全確認、手動ドアの開閉、車庫入れや連結時の誘導、レールの安全確認なども。切符販売などの接客も大事な仕事で、車内アナウンスでは観光案内もしています。



✿働いてみて感じたこと

体力が必要な仕事ですが、それ以上にお客様とのふれあいが楽しく、もっと奥大井の魅力を伝えたいと思うようになりました。また、男女兼用トイレしかなかった両国駅に、昨年女性専用トイレが新たに作られました。職員を大切にしてくれる会社だと感じています。

女性が多い職場で自分らしく働く男性もいます!

六合第二保育園

園長
ひらの たかひさ
平野 貴久 さん

19年間保育士として保育現場で活躍
主任、副園長を経て現保育園園長に就任



前列左から3人目・園長 平野貴久さん

✿保育士になったきっかけ

人と関わることや笑わせることが好き。保育実習に行ったとき、子どもに手遊びをしたら笑ってくれたことが嬉しくて、子どもの純粋さや持っているパワーと一緒にいるだけで幸せだなと感じ、「向いているのかも」と思いました。

✿職場環境

園長先生や職場の先輩たちが受け入れてくれて、自分の力を発揮できるよう、仕事しやすい環境にしてくれました。保護者からの「子どもとサッカーをやってくれて嬉しい」という声も励みに。でも男性保育士は珍しいので、以前は研修のときに、名前を「キクさん」と読み間違われたこともありました。

✿働いてみて感じたこと

保育の現場は、男性も女性もいることで相乗効果があると思います。男性がいることで防犯効果もあると思うし、デメリットはない。

今は、男性保育士も増えていますが、男女問わず、一人の人間として個性を発揮できるような職場を作っていきたいと思っています。